

Montessori Inspiration Weekend 2023 in Delft

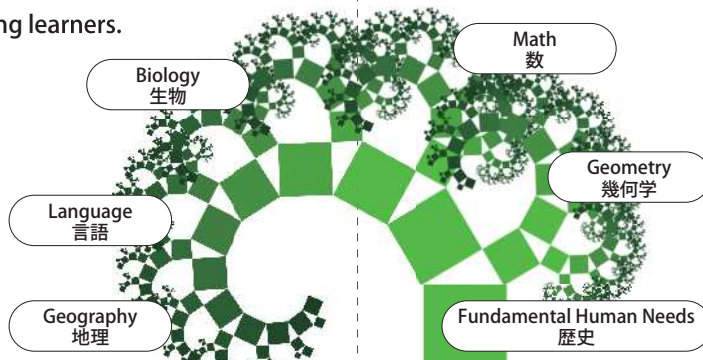
フェルメール「デルフトの風景」の現在の場所

In the historic Dutch city of Delft on 12-14 May 2023, we are inspired by world-renowned Montessori Trainers: Patricia Wallner, Vikki Taylor, and Bo Mynett. Casa Bilingual Montessori school, together with International Montessori Institute, wish to inspire all local Montessorians with rich content and additional support. Deepen your knowledge of the Montessori Method as we look at Acquisition of Culture. This weekend is further supported by Haagse Montessori Opleiding, AMI, and Nienhuis.

AMIとCasa Schoolが共同で開催するInspiration Weekend 2023に今年も参加してきました。我らがトレーナーのBo Mynett (6-12歳レベル)と、世界中でモンテッソーリ教師を育成している有名トレーナー、Patricia Wallner (0-3歳レベル)、Vikki Taylor (3-6歳レベル)という講師陣で「文化の獲得」という視点からモンテッソーリ教育の学びを深めました。

このイベントは、AMI (国際モンテッソーリ協会)、Haagse Montessori Opleiding (オランダモンテッソーリコース)、そしてNienhuis (AMI公式の教具メーカー)による協賛を得ています。

Our Trainer, Bo always has a great artistic flair. The charts she draws, and the art lessons she gives us in the training course are always inspiring, not only for us but also for the children. She started her lecture with art. Art can be the key to all the subject areas for the elementary children. It is said that music and art education is vital to a child's development and aids in the ability to become lifelong learners.



Music and art education can teach children various skills without us knowing. From confidence building to social skills, motor skills and a greater understanding of the world around us. Music and art education is a key subject for children to explore.



Inspiration Weekend!
Acquisition of Culture.



私たちのトレーナーであるBoはいつもアートに溢れています。彼女の描く図表や、アートレッスンは、私たちだけでなく子どもたちにとっても、心を揺り動かされます。今回もBoの講義はもちろん、アートから始まりました。アートは、学童期の子どもたちにとって、全ての教科につながる鍵です。アートや音楽などの芸術教育は、子どもの発達に欠かせません。芸術は、子どもたちの生涯学習の一助となります。



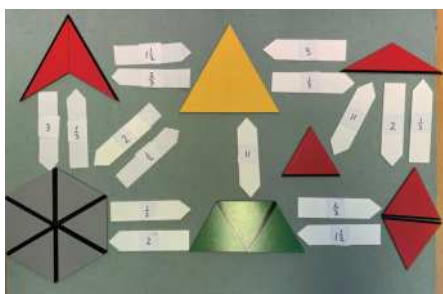
知らず知らずのうちに、音楽とアートは子どもたちにたくさんのことを教えてくれています。自信や社会性を育み、動きの洗練、それだけでなく私たちの世界をより理解することにつながり、子どもたちの探求の鍵となります。

“Help me to think by myself”

Children under 6 built themselves through the environment. Their Absorbent Mind and the Sensitive Periods are the important aid for their development.

From 6 years old and on, their minds have changed to a ‘Reasoning Mind’, and they always try to see the reason in everything. Instead of the sensitive period, a strong sensitivity to Morality and Sociality appears. What is wrong and right, bad or good, should or should not, etc. They wander around the world with their moral sensibility. They want to confirm that the moral sense they have is good for this world, society, and community. ‘Think’ does not include only thinking for myself but thinking for others. For their own developmental need, they come to you for the confirmation of their inner voice. They want to become secure about their feelings.

So, when a child comes to you, saying ‘I was doing (this and this) and I think it’s bad. I told him to stop it, but he won’t listen!’ You take a moment and say, ‘Yes, you are right.’ Even if you do not have time to go there and deal with the situation, just say, ‘You are totally right. You know, I am busy doing this right now, but later I’ll go and tell him. Because you are completely right.’ Once this child gets the confirmation, they become very secure. This sense of security that the children are building at this level needs support. With the adult’s help and support, the child will gain confidence and will be able to look at the world in a positive way.



The same can be said for the learning process. Children are tireless learners. They always want to know more. They want to know about everything they wonder about in this world. To learn more and more, they need a firm guidance from adults, in order to build confidence.



“自分で考えられるように手伝って”

6歳までの子どもたちは、環境を通して自分を作っていきます。「吸収精神」と「敏感期」に助けられ、自分自身の基盤を6歳までに完成させます。

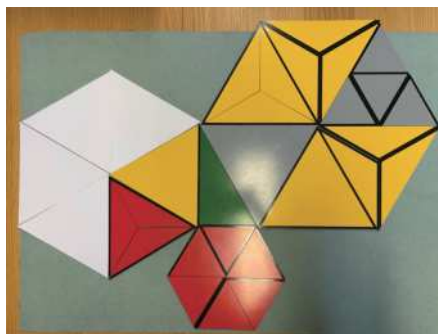
6歳以降は「吸収精神」が「理由づけの精神」へと変化し、目にする全てのものの背景に何があるのか、どうしてそのように機能するのか、知りたがるようになります。「敏感期」に代わり子どもの内側から湧き出てくるのが「倫理感、社会性への敏感性」です。正しいことと間違っていること、善と悪、「～すべき」等にとっても敏感になります。子どもたちは、自分の行いや考えが、このコミュニティ内だけでなく、社会や世界と合っているのか確かめたくて仕方ありません。

「考えられる」とは、自分のために考えられるようになるだけではなく、他人のために考えられるようになることも指します。自分自身の考えが間違っていないかどうか確かめるために、大人にしつこくこう言ってくるのだと思います。「Tくんが（あんなことやこんなこと）してる！私は注意したんだけど、聞いてくれなくて、ほんとにもう！」そんな時には、「あら、ほんとね。（あなたの）言ってることは、全く間違っていないし、正しいと思うよ。今、ちょっと手が離せないんだけど、後で私からも言うておくから。だって、それが正しいんだから。」と言ってあげるだけで、とても安心し、次に進むことができます。これで自分は間違っていないのだと確信し、自分自身のモラル感を構築することができます。この時期の子どもたちは、このモラル感を構築するのに援助を必要としています。少しの大人の助けで、この子どもは自信をつけることができ、前向きに考えられるようになります。

同じことが学習過程にも言えます。子どもたちは本来「疲れを知らない学習者」です。いつも、もっと知りたい、世界の全てを知りたいと思っています。そこに大人の明確な導きがあれば、学びに対する自信もつけていきます。

つまり子どもたちが喜んで学ぶようになるための責任は大人にあると言えるのではないのでしょうか。まだ見たことのない学びの世界に対して、積極的な態度を取れるようになるには、大人の導きにかかっているのです。そのためにも、大人は、子どもたちの興味を最大限に引き出すことが必要です。

So, we can say that it is our responsibility for children to come to love what they learn, for them to be active, and for us to give them a vision of what they haven't seen yet. In this way, we need to spark their interest.



Confirmation becomes confidence. Confidence changes the attitude. This attitude will be a part of the child that will last for life. What kind of attitude do you want your child to have?

ffering children 'Cosmic Education' is one of the outstanding aspects of Montessori education. Cosmic education is like a FREE ticket to enter this world at a conscious level. In Cosmic Education, we start from the whole to work on the goodness of human beings. We all belong to a part of greatness of human society.

For that reason as well, we need them to be active to learn. If we, adults, understand how important it is to offer children something in a way that their interest is aroused, or to become physically interact with the environment, that is when they learn. They will say, 'Cool, I want to be able to do that, too.'

Cosmic education does not isolate the subject areas. Because we think that one subject should aid other subjects. When you tell the story of geometry, children will see the patterns. In the pattern of the earth, they will see geography. There, is Egyptian civilization as history. How they grew their crops and plants, what they ate, what they were afraid of, will connect children to Biology. Math and Pythagoras cannot be told without Egyptians. And of course, all of those above contains language, reading, writing and comprehensive skills.

This is a great way to use the elementary children's great power of imagination!

For children to learn, all the subjects should

子どもの考えや行動を認め、承認することは自信につながります。自信がもてると態度や在り方が変わっていきます。この「在り方」は、子どもの生涯にわたり自分自身の「一部分」となっていくのです。私たちは、子どもたちにどう在ってほしいと願っているのでしょうか？

モンテッソーリ教育には「コズミック教育」という大きな特徴があります。コズミック教育は、この世界を意識レベルで理解するための無料チケットのようなものです。コズミック教育では、まず全体像から入り、人間社会という小さな部分にズームインしていきます。小さくはありますが、今私たちが生きている人間社会全てに関わることです。

そのためにも、子どもたちが積極的に学ぶ姿勢をもつことが求められています。もし、子どもの興味を引き起こすことがどんなに子どもの学びに直結するのか、体を動かして学ぶことがどんなに大切か、全ての大人が理解することができたら、子どもたちの学びは変わっていくと思います。

コズミック教育では、教科を分けて捉えることはなく、全ての教科が相関関係を保ちながらつながっていることを重要視しています。幾何のストーリーを伝えれば、そこから幾何学模様につながり、幾何学模様は地球のあらゆるところで発見され、地理へとつながっていきます。幾何と古代エジプト文明は切り離すことはできません。古代エジプトの人々がどんな暮らしをしてきたのか、食べ物や家畜、暮らしやそこに住む動物の話は、子どもたちに生物学を与えるきっかけとなります。数やピタゴラスはエジプト文明なしには発展を遂げませんでした。そして、これらの学びの相関関係には常に、言語が絡みます。言葉で理解し、書物を読み、自身の言葉で言い換え書き留める、などです。

これらはまた、学童期の子どもたちの「想像する力」を最大限に活用する方法でもあります。

子どもたちが学ぶためには、全ての教科が関わり合う必要があります。その方がずっと自然だからです。一方で、日本のカリキュラムは教科を分けて授業が行われ、教科ごとに試験があります。

ここで、子どもたちに試験は必要なのだろうか疑問がわいてきます。なぜ「子どもたちが何を知っているか」が一側面だけで点数化されなければならないのでしょうか。「習得度」とは何でしょう？子どもたちに深く考えもせず「テストでいい点数とりなさい」と押し付けていないのでしょうか。私たちは、テストの点数と、短期記憶が試されていることの区別がついているのでしょうか。

私は、子どもたちの短期記憶だけを試すテストは必要ないと思っています。それより、子どもたちにこの世界が教えてくれていることの全てを与えられたら、コズミック教育の恩恵を最大限に活用できたら、どんなに良いかと考えワクワクします。

interrelate with each other. But why does the traditional curriculum try to isolate the subject? Why do we need to test what children know in particular subject? What is the 'mastery'? Don't you say, 'Just memorize for the test' without any deep understandings? Is it really true and right that learning is only equal to a mental memory capacity?

I would like to say, no, tests are not necessary to check the child's mental capacity. Rather, let's offer our child everything what this whole universe tells us. Let our child benefit from this Cosmic Education to the fullest.

So, what would you do/say to your child to spark their interest?

After this Inspiration Weekend, I came to this beautiful Montessori community in UK, 'The Montessori Place' for one week of observation. They serve children from 15 months to 18 years old in the tradition of the Montessori education (AMI),

One day the director, Rob brought a huge sheet of plywood in the classroom and said to a group of girls of 10 years old.

'Imagine, what do you think, at the end of this term, you'll enjoy the summer on the boat that you make.'
'Let's get down to work!'

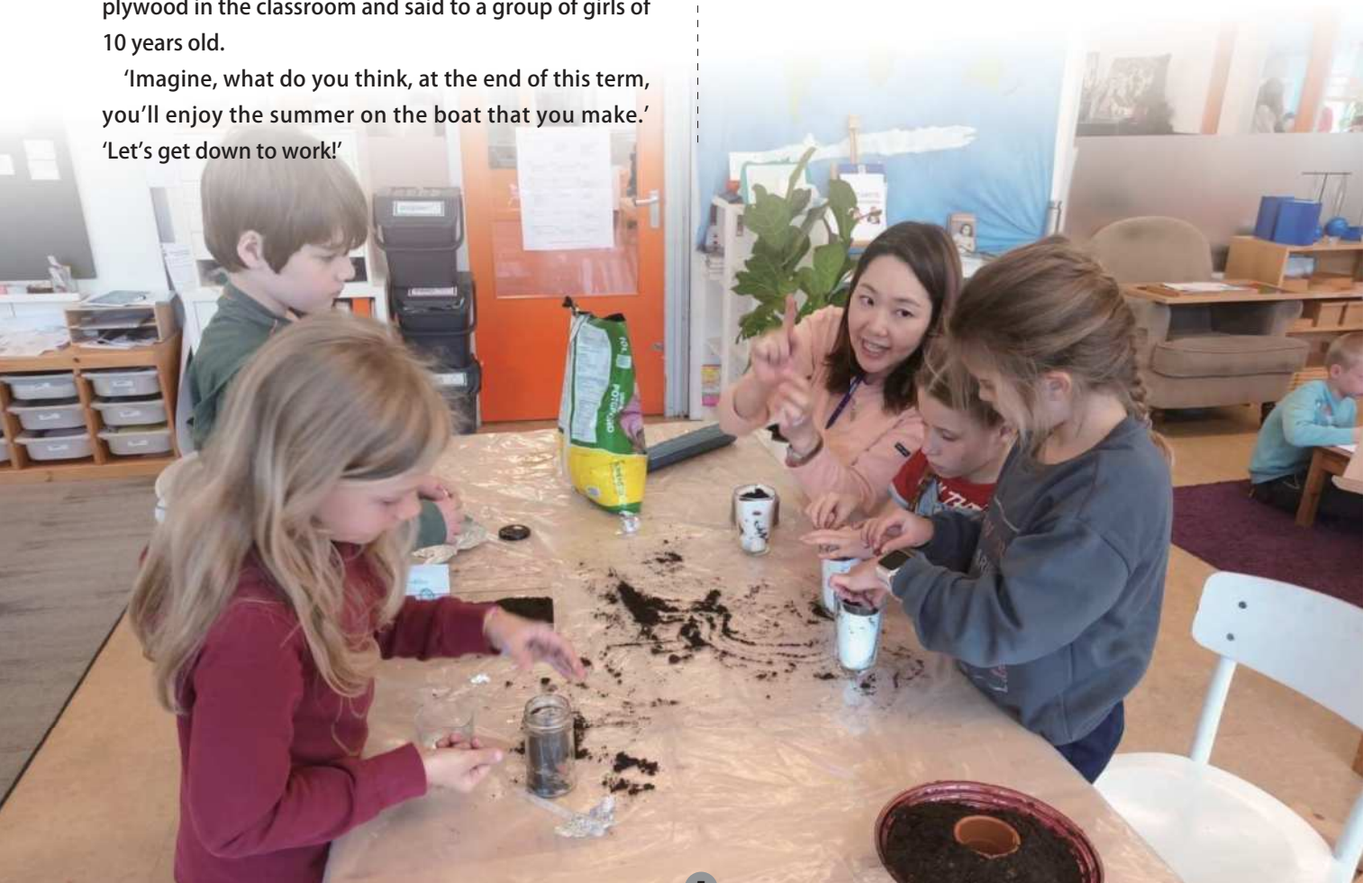


さて、子どもたちの目を輝かせるために、私たちはどんなことができるでしょうか。

このInspiration Weekendのすぐ後に、私はイギリスに渡り、1歳半～18歳までのモンテッソーリー貫教育を行う'The Montessori Place'という学校で一週間、観察実習をさせていただきました。

ある時、ディレクターのRobが10歳の女の子数人を集めてこう言いました。

「想像してみてください。今学期が終わるとき、君たちはボートの上で夏を楽しんで。自分たちの作ったボートに乗ってね!」「さあ、取り掛かりよう!」





野焼きが終わったばかりの平尾台

野焼きを終えた平尾台の3月。見渡す限りのカルスト大地に迎えられ、カーサ・デ・バンビー二年中さん、年長さん、卒園児と共に2泊3日のお泊まり保育に行きました！今年の新たな発見は、こんなにも「経験」がものをいうのかという感動。去年参加した子どもたちと、初参加の年中さん。皆すごすご楽しみにしてくれていました。

現地に着いて3日間のルールを話し合ったら、キャンプチェアを並べ、最初の夕飯のカレー作り！ご飯を炊いたり、具を切ったり、テーブルセッティングをしたり、みんなで協力します。初めてのお泊まり、初めての家族以外との夕食。みんなで作ったカレーは美味しい！



まずは共同生活のルール作り

みんな協力して夕食の支度

初日、8時半には就寝。本を読みながら寝落ちする子や、少し泣いてしまう子も。みんなで眠って明日に備えます。

翌朝7時半には平尾台散策に向けて出発。目指すは「鬼の唐手岩」。大きな洗濯岩のような岩が重なり合っていて、北九州空港まで見える見晴らしのいい場所です。

去年、訳も分からずひたすら付いて来ていた子らが、今年は年長さんとなって年中さんを引っ張ります。どこまで歩くか、どのくらい歩くかわかっているから、「まだ～？」「あとどれくらい？」「もう歩けない」という言葉が出てこなかったのに驚いたと同時に感動しました。

初体験の年中さんは大変。こんな距離を歩いたこともなく、足元の岩はゴツゴツ、雨も降っていて泣いちゃいそう。でもね、さすがモンテッソーリの子もたち。やり切る気持ちが強い！！小言を言いながらも「唐手岩まで、行く！やる！」と自分

たちを鼓舞します。

ついに着いた唐手岩。「僕たちのおうちが見える！」「気持ちがいい！」「すごいね」。感動でいっぱいです。歩いた山道は、約7キロ、4時間。自分の足で歩ききりました！



後輩たちに声掛けしながら道案内

やっと到着「鬼の唐手岩」

2日目の晩ごはんはお楽しみのバーベキュー。救世主のようにやって来たパパさんボランティアが、火おこしをヘルプしてくれました。苦戦していたので本当に助かりました。

もう一晩寝たら、明日はお父さんお母さんのお迎えです。寂しくて泣き出してしまう子もいましたが、周りの子どもたちに助けられ、9時には全員寝落ち。体力も気力もめいっぱい使い切った子どもたちの寝顔は、とってもキラキラしていて、一回り大きく成長したようにも見えます。



焚き火を囲んでまったり(?)

最終日の朝、自分たちでベッドを片付け、荷物を整理し、朝ごはんを食べて、あとはお迎えを待つだけ。子どもたちはとても誇らしげに「また来年も来たいね」と話しています。私たちも、毎年恒例の行事にしていけることを願っています。

火おこしや、子どもたちの遊び相手に来てくださったボランティアのお父さまたち、平日にも関わらずお迎えの対応をしてくださった保護者の皆さま、ありがとうございました。



Make a Bonfire

バーベキュー&焼き芋(2023年1月21日)
@足立青少年の家キャンプ場

総勢42名が参加したバーベキュー&焼き芋イベント。フィールドに繰り出した子どもたちの中には、初めて火をおこした、初めて焚き火を見たという子もいました。



火は熱いと知識で知っていても、「消えた後の炭もめっちゃ熱い」、「火の粉が飛んだらどうなる」、「この辺りまで近づいても大丈夫」、「お兄ちゃんがここまでやってるから自分はここまでやってみよう」などなど、机上では学びきれない自然や人とのやり取りをたくさん見る事ができました。

驚いたのは、大人の準備した焚き火の横に、子どもたちが自らミニチュア焚き火を作ったことです。自然発生的にそのチャレンジは始まり、高学年が中心となりまわりに3~4歳の子たちも集まってきました。そしてそこで焼いたとうもろこしを食べて、満たされた顔でそれを頬張る子どもたち。

参加者の大人の皆さんも誰1人「危ないからやめなさい」と言わず、全てを大人が提供しなかった素晴らしいメンバーで開催できたことに、心から感謝します。

みらいの学校 vol.2

子どもキッチンカー(2023年2月26日、3月6日)
@門司港駅前広場



北九州市でキッチンカーやイベント出店をされている「あうるえん」さま主催のイベントに、スコーラの子どもたちが「子どもキッチンカー」として出店し、おにぎりや味噌汁の販売をしました。バイリンガルな環境で、外国人のスタッフも一緒に出店準備を行いました。

試作は税理士事務所ZATTA ZISSEさまのキッチンを使わせていただき、子どもたちとメニューや値段設定、試作を行いました。

「仕込みで何グラム用意する?」「味付は何グラム入れたらいい?」「予備も入れるとどのくらいかな...?」色んな形で数にも触れながら、せっせと仕込みました。

当日は、同時開催したあうるえんの販売体験や、おむすび販売ブースの方へ、保育園カーサ・デ・バンビーニの子どもたちも参加し、お客さんもたくさんの知り合いが来てくれて子どもたちは接客も売上管理も頑張ることができました。



みらいの学校 Vol.3

こどもチャリティ国際マーケット

開催日:7月30日(日)

場所:勝山公園

「交流から共生へ」をテーマとして、国際色豊かなマーケットを子どもたちと共に開催。収益の一部は、世界の子どもたちへの寄付金として活用します。



お申し込みフォーム

Summer Boarding School

開催日:8月22日(火)~24日(木)2泊3日

対象:年長~小学3年生

場所:世界のよこ邸

自己教育力を高め、自分自身で切り開いていく力を養う。今年さらにはパワーアップ!実践的なバイリンガル環境で、モンテッソーリ教育ならではの「地球」を探究しながら自由研究も完成!



お申し込みフォーム

予告
参加者
募集

【収支報告】

2022年度の収支内訳は以下の通りとなりました。

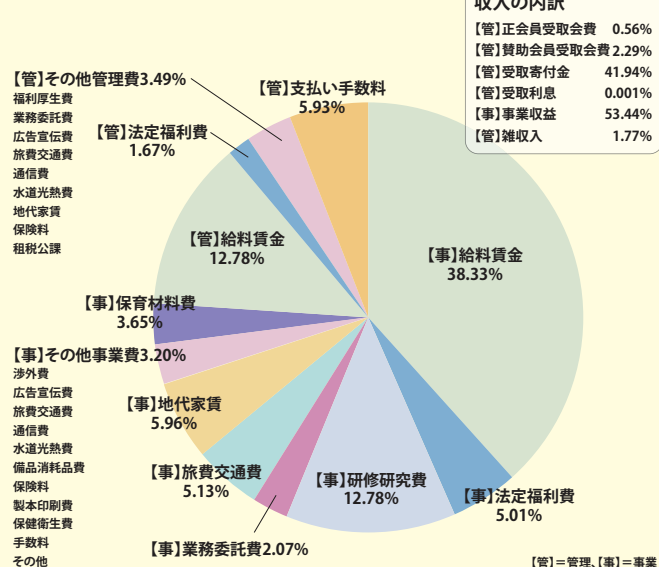
Scuola dei Bambiniはドネーションが活動費の大きな割合を占めています。

おかげさまで今年度も幅広い活動を行うことができました。

これもひとえに、活動にご理解・ご協力くださっております皆様のおかげです。

これからも、子どもの成長と個性に合った教育の機会を提供できるようさまざまな取り組みを行って参りますので、よろしくお願いいたします。

■2023年支出の内訳



各SNSでも情報発信中
登録はこちらから→



活動報告◆2022年12月～2023年3月の主な活動

- 12月21日 クリスマスコンサート
- 12月23日～1月18日 クラウドファンディング実施
- 1月21日 多文化環境で火おこし&焼き芋&BBQ
- 2月10日 Scuola Cafe - History(歴史)
- 2月13日 びびんこ 協働成果発表会
- 2月26日、3月5日 みらいの学校Vol.2 子どもキッチンカー
- 3月11日 Scuola Cafe - Division(割り算)
- 3月15日～17日 お泊まり保育
- 3月20日 Hotmilk主催 モンテッソーリのお話会

活動予定

参加者募集中！

オンライン開催

- Scuola Cafe 6月23日- Algbra & Hierarchy(代数と実数)
- 7月20日19時～ コズミックエデュケーション
- 小学校入学説明会 6月23日(Scuola Cafe内にて)
- 7月9日(予定)
- 8月26日(予定)

対面開催(有料)

- モンテッソーリエレメンタリー学びの会
- 対象: モンテッソーリ小学校過程を学びたい方、小学校低学年の子ども

- 9月(予定) Long Black Strip(歴史)
- 10月(予定) Bead Frame(色ビーズのそろばん)
- 11月(予定) Fraction(分数導入編)
- 12月(予定) The God who has no hands(手のない神さまのお話)
- 1月(予定) Geometry(幾何の基本)

- みらいの学校 Vol.3子どもチャリティ国際マーケット 7月30日
- Summer Boarding School 8月22日～24日

LINE登録で、
イベント情報
をゲット



日本の教育の未来にあなたの力を貸してください

Scuola dei Bambiniにはいろんな関わり方があります

少額からの寄付を募っています

今の活動をサポート

【単発支援】

- 5,000円 学校を作るための設備投資や人件費に使わせていただきます。
- 10,000円
- 50,000円
- 100,000円

未来の学校をサポート

【毎月支援】

- 1,000円(12,000円/年)
- 3,000円(36,000円/年)
- 10,000円(120,000円/年)



ボランティアサポーター・賛助会員・正会員のご案内

ボランティアサポーター

年会費0円

- ・会報誌「スクーラ通信」配布
- ・スクーラ限定グッズを購入できる権利
- ・自発的なイベント企画、運営へ参加する権利

賛助会員

年会費3,000円

- ・会報誌「スクーラ通信」配布
- ・スクーラ限定グッズを購入できる権利
- ・イベント企画、運営へ参加する権利

Scuola
dei
Bambini



NPO法人 Scuola dei Bambini
北九州市小倉北区吉野町12-19
会報誌Vol.004
2022年7月1日発行

詳細は、
Scuola dei Bambini
ウェブサイト



第2弾



クラウドファンディング本番!近日公開

前回のクラウドファンディングでは、想定額をはるかに上回るご支援が集まりました。誠にありがとうございました。

今回は、皆さまのお力添えをいただきながら、子どもたちの安全・安心の根幹に関わる校舎の施設整備を実現します。いただいたご支援は、校舎の改修工事費・材料費・校庭の整備費用などに使わせていただきます。

※クラウドファンディングの詳細については、Scuola dei BambiniのホームページやSNS等で随時情報を更新致します。

※For Good!は、「目の前で困っている人の力になりたい」「身の回りで起きている理不尽なことを、放っておけない」「社会が前進するアイデアをカタチにしたい」など、「社会をより良くしたい」という思いを行動に変えるクラウドファンディングです。